



## FCS の設定

---

この章の内容は、次のとおりです。

- [FCS の設定, 1 ページ](#)

## FCS の設定

### FCS の概要

Fabric Configuration Server (FCS) を使用すると、トポロジ属性を検出したり、ファブリック要素のコンフィギュレーション情報リポジトリを維持したりすることができます。通常、管理アプリケーションは N ポートを通してスイッチの FCS に接続されます。FCS は次のオブジェクトに基づいて、ファブリック全体を表示します。

- **Interconnect Element (IE)** オブジェクト：ファブリック内の各スイッチは IE オブジェクトに対応しています。ファブリックは 1 つまたは複数の IE オブジェクトで構成されます。
- **ポート オブジェクト**：IE の各物理ポートはポート オブジェクトに対応しています。ポート オブジェクトにはスイッチ ポート (xE および F ポート) および接続された N ポートが含まれます。
- **プラットフォーム オブジェクト**：一連のノードをプラットフォーム オブジェクトとして定義して、管理可能な単一のエンティティにできます。これらのノードはファブリックに接続されたエンドデバイス (ホストシステム、ストレージサブシステム) です。プラットフォーム オブジェクトは、ファブリックのエッジスイッチ上にあります。

各オブジェクトには、それぞれ独自の属性および値のセットがあります。一部の属性にはヌル値も定義できます。

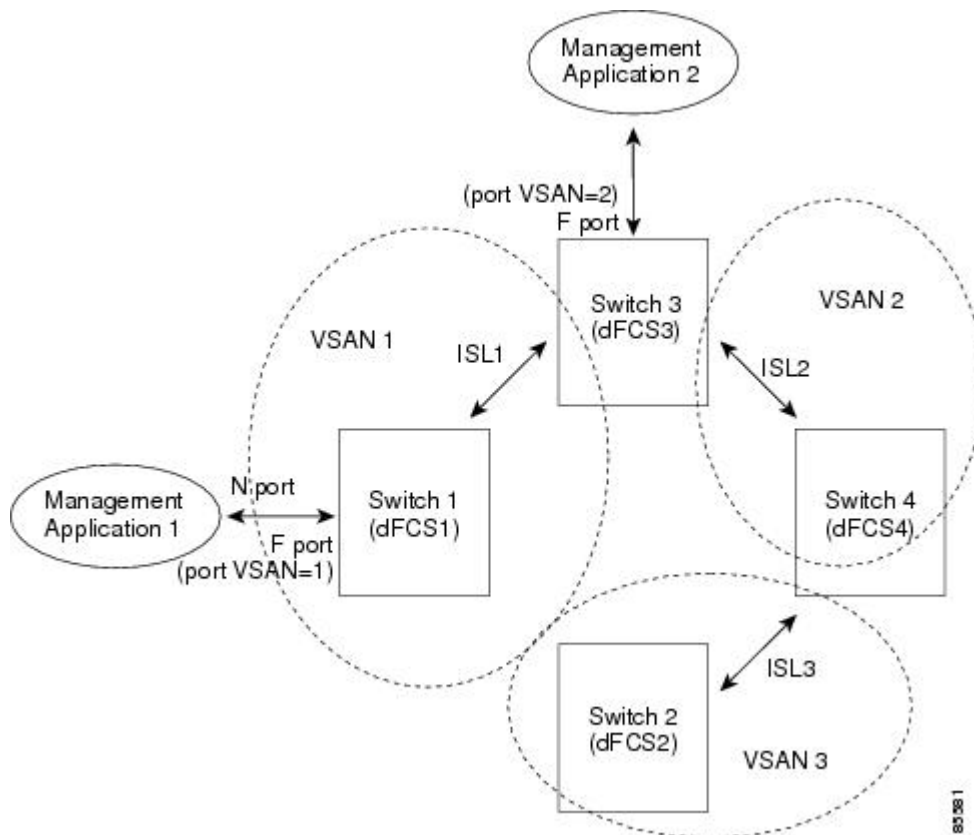
Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチ環境では、ファブリックは複数の VSAN で構成される場合があります。VSAN ごとに FCS インスタンスが 1 つ存在します。

FCSは仮想デバイスの検出をサポートします。 **fcs virtual-device-add** コマンドをFCS コンフィギュレーションサブモードで入力すると、特定のVSANまたはすべてのVSANの仮想デバイスを検出できます。

スイッチに管理アプリケーションが接続されている場合、スイッチのFCSに転送されるすべてのフレームは、スイッチポート（Fポート）のポートVSANに属します。管理アプリケーションの表示対象はこのVSANに限定されます。ただし、このスイッチが属する他のVSANに関する情報は、SNMPまたはCLIを使用して取得できます。

次の図では、管理アプリケーション1（M1）は、ポートVSAN IDが1のFポートを介して接続され、管理アプリケーション2（M2）はポートVSAN IDが2のFポートを介して接続されています。M1はスイッチS1およびS3のFCS情報を、M2はスイッチS3およびS4のFCS情報をそれぞれ問い合わせることができます。スイッチS2情報はどちらにも提供されません。FCSは、VSANで表示可能なこれらのスイッチ上でだけ動作します。S3はVSAN 1にも属していますが、M2はVSAN 2にだけFCS要求を送信できます。

図 1: VSAN環境におけるFCS



## FCS の特性

FCSには次の特性があります。

- 次のようなネットワーク管理をサポートしています。

- Nポート管理アプリケーションはファブリック要素に関する情報を問い合わせ、取得できます。
- SNMP マネージャは FCS 管理情報ベース (MIB) を使用して、ファブリック トポロジ情報の検出を開始して、取得できます。
- 標準 F および E ポートだけでなく、TE ポートもサポートします。
- プラットフォームに登録された論理名および管理アドレスを持つ一連のノードを維持できません。FCS はすべての登録情報のバックアップをセカンダリ ストレージに維持し、変更があるたびに更新します。再起動またはスイッチオーバーが発生すると、FCS はセカンダリ ストレージ情報を取得し、データベースを再構築します。
- SNMP マネージャは FCS に、ファブリック内のすべての IE、ポート、およびプラットフォームについて問い合わせることができます。

## FCS 名の指定

一意の名前の確認をファブリック全体 (グローバル) に行うのか、または登録されたプラットフォームにローカル (デフォルト) に行うのかを指定できます。



(注) このコマンドのグローバル設定は、ファブリック内のすべてのスイッチが Cisco MDS 9000 ファミリまたは Cisco Nexus 5000 シリーズのスイッチである場合にかぎり実行してください。

プラットフォーム名のグローバルチェックをイネーブルにする手順は、次のとおりです。

プラットフォーム属性を登録する手順は、次のとおりです。

### 手順の概要

1. `switch# configuration terminal`
2. `switch(config)# fcs plat-check-global vsan vsan-id`
3. `switch(config)# no fcs plat-check-global vsan vsan-id`

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>switch# configuration terminal</code>	コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	<code>switch(config)# fcs plat-check-global vsan vsan-id</code>	プラットフォーム名のグローバルチェックをイネーブルにします。
ステップ 3	<code>switch(config)# no fcs plat-check-global vsan vsan-id</code>	プラットフォーム名のグローバルチェックをディセーブル (デフォルト) にします。

## FCS 情報の表示

WWN 設定のステータスを表示するには、**show fcs** コマンドを使用します。

次に、FCS ローカル データベースを表示する例を示します。

```
switch# show fcs database
```

次に、VSAN 1 のすべての IE のリストを表示する例を示します。

```
switch# show fcs ie vsan 1
```

次に、特定のプラットフォームに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs platform name SamplePlatform vsan 1
```

次に、特定の pWWN のポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs port pwwn 20:51:00:05:30:00:16:de vsan 24
```

## FCS のデフォルト設定

次の表に、FCS のデフォルト設定を示します。

表 1: FCS のデフォルト設定

パラメータ	デフォルト
プラットフォーム名のグローバル チェック	ディセーブル
プラットフォームのノードタイプ	不明